

日米親善春祭りで来場者と交流

4月22日に神奈川県厚木航空基地で開催された日米親善春祭りでは、神奈川地方協力本部は自衛官募集広報ブースを開設しました。ブースに掲示した災害派遣等の活動写真や自衛隊の受験案内に、多くの方が関心を示し立ち寄ってくれました。来場者からは「なぜ米軍と自衛隊が同じ基地にいるの?」「海上自衛隊なのになぜ航空基地なの?」といった質問が投げかけられ、広報官の丁寧な説明にうなずいている様子でした。将来の進路として自衛隊を考えている学生やその家族からも説明を求められる中、特に女性からの質問がこれまでになく多くなった印象を受けました。

また、神奈川地本キャラクター「はまにゃん」も広報官とともに日米の来場者と交流し、リクエストに応じて米軍消防車の前でポーズをとる一面が見られました。

自衛隊の活動は災害発生時などの特異な状況でしか市民の目に触れる機会が無いため、このようなイベントが、唯一、自衛隊と市民の距離を縮めることができると感じています。市民に自衛隊の活動状況を正しく共有してもらうことで、地域と自衛隊との協力関係が強化されることを期待しています。

